

心を1つに 最高の笑輝祭・文化の部へ

合言葉「失敗しても みんなが味方でいてくれる」

笑輝

第15号
加賀中学校
校長室

合唱の練習始まる



3年生のパート練習の様子
「仲間と最高の思い出を」

長い夏休みが明け、いよいよ2学期が始まりました。そのスタートを飾る最大の行事「笑輝祭・文化の部」が、9月18日(金)に開催されます。

9月2日(水)から本格的な練習が始まり、9月8日(火)からは、放課後練習も始まります。学校中は心地よい熱気とエネルギーに満ちあふれています。各クラスの代表者が想いを言葉に紡ぐ弁論発表、クラスの個性を歌声にのせる合唱発表、そして最上級生としての絆を大迫力で証明する3年生の学年合唱。さらに展示発表や吹奏楽部の発表、オープニングなど、どのプログラムも今から楽しみでなりません。

今回の合唱や弁論には、金賞や最優秀などの賞が設けられています。これは、個人で、クラスみんなで、どこまでいけるか挑戦してみようと、一人ひとりが一歩を踏み出すきっかけにしてほしいという想いから設定されたものです。

しかし、私が本当に楽しみにしているのは、どのクラスが賞を取るかはありませぬ。「失敗しても、みんなが味方でいてくれる」と、誰もが安心していられるクラスや学校の姿です。

全員で一つの合唱を作り上げるプロセスには、たくさんの「人とかかわり」が詰まっています。歌が得意な人も、少し苦手な人もいます。時には意見がぶつかったり、周りとの温度差に戸惑ったり、上手くいかずに悩んだりすることもあるでしょう。実は心理や教育の研究でも、こうしたいつもと違う集団活動は、楽しさを感じる反面、友達との距離感が難しくなり、不安やストレスを感じやすいことが分かっています。ですから、今もし「上手くいくかな」と不安を感じている人がいても、それはとても自然なことなのです。

大切なのは、ここからです。こうしたぶつかり合いや戸惑いを乗り越える経験こそが、皆さんのコミュニケーション力や、ストレスに負けない強い心を育てます。意見のすれ違いを乗り越えて声をつなぐ合奏や、いくつになかで、自分と違う相手を認める優しさを深め、やり遂げた後には、自分への自信とクラスの仲間への強い信頼を手に入れることができます。

そこで、大切にしてほしいことがあります。それは、誰かが上手く歌えないときに周りがそっと声で支え、お互いにカバーし合うこと。プレッシャーのかかる弁士、伴奏者、指揮者を、全員が温かい拍手や「大

丈夫だよ」という言葉で支え合うことです。誰もが多かれ少なかれ、不安やストレスを感じています。だからこそ、みんなを励ましあってほしいのです。「失敗しても大丈夫、何とかなる」という安心感で、クラス、学年、全校が包まれる行事にしていきたいです。

そして、発表を終え、ステージを降りたときに、「この仲間と一緒に挑戦できてよかった」と、全員が心から思えること。そんな皆さんの姿を楽しみにしています。また、ここで培われる絆は、ステージの上だけで終わるものではありません。行事の後も続く2学期の学校生活、そして皆さんの未来を支える確かな土台になります。だからこそ、歌の技術だけでなく、お互いを思いやる優しさや信頼関係を、この練習期間でじっくりと育ててほしいと思います。

本番というゴールに向けて、「失敗しても、みんなが味方でいてくれる」を全校の合言葉として、まずは目の前の一日一日を仲間と共に楽しみ、大切に積み重ねていきましょう。皆さんの挑戦を、心から応援しています。頑張れ加賀中生。

笑輝祭・文化の部

- 期日 9月18日(金)開催
- 場所 加賀中学校体育館
- 開会 8:50 ~
- 校内弁論大会 9:05~
- 吹奏楽部演奏 9:55~
- 合唱コンクール 10:25~
- 閉会 12:10~
- 駐車場 中学校グラウンド